

とよなか

(部内資料)

教え子を再び戦場に送るな！ 2019年10月25日発行NO. 605

〒561-0854

豊中市稲津町1-7-1

TEL (06) 6865-3190 FAX (06) 6865-3191

Eメール zenkyo-toyonaka@tcct.zaq.ne.jp

Web ページ

検索：【全教豊中】

change.org【緊急署名】「変形労働制」は撤回してください。



今より退勤が遅くなる！

勤務時間を延ばし、残業が増える

閣議決定—
法案として
今国会に

10月18日、政府は教員の労働時間を年単位で調整できるような「変形労働時間制」を導入を盛り込んだ教職員給与特別措置法（給特法）改正案を閣議決定しました。



文科省は、現状の時間外勤務の実態に合わせて時間外手当を支給すれば約9000億円の必要だとしています。長時間勤務の時間外勤務をしていて、実態を「変形労働制」を導入することで数字上、みせかえの長時間勤務を減らそうとしています。

導入されると！！

授業中の勤務時間が延長されて、見かけ上の時間が減る！退勤時間が今まで以上に遅くなることとが考えられます。

「保育園のお迎えに間に合わない」「介護が続けられない」これでは仕事

小学校教員に変形労働制が導入されると……

(2016年文科省勤務実態調査における平均勤務実態にあてはめたもの)



国立の大学附属校等に変形労働時間制が導入され

は慢性的長時間労働

が続けられない！
こういった声は当然あ
がってきています。

秋晴れ 能勢へ栗拾い

主催：大阪教職員組合共済会(大教済)・豊能

10月6日(日)総勢41名、たくさんのファミリーの参加で能勢へ栗拾いに行きました。

教職員とその家族ならだれでも参加できる企画ということで多くの参加で実施して今年で3年目。

「銀寄」という能勢名産の栗をみんなしっかりと拾っていました。



実効ある対策はこれ!

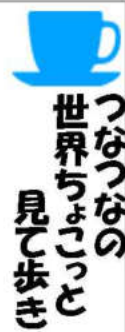
○教職員定数の抜本的改善!

○すべての学年での少人数学級の実現

○「時間外勤務は命じられない」とする原則を堅持した上で時間外勤務手当支給の「給特法」改正

導入反対の声を! ネット署名・署名

ネットでは「変形労働制」導入反対の署名が3万筆



ウクライナ編その4

バスは小さな村を巡った後、いよいよ核心のチェルノブイリ原発4号機に近づいた。メルトダウンした4号機は事故直後、多量のコンクリートやホウ酸、石灰等を使って石棺詰めされた。しかしこれはあくまでも応急処置。耐用年数は約30年とも言われ、徐々に老朽化が進み、ついには崩壊の危機にも瀕していた。

(change.org)を超えています。豊中の現場からも反対の声をあげましよう。

全教・教組共闘の署名

な思いが頭をよぎった。

一応ガイガーカウンターの数値を見てみる。さすがに石棺&シエルターに覆われているので空間線量は格段に低い。覆うということはそれだけ効果が高いのだ。シエルターの耐用年数は約100年ということだったので、それで当面は放置だと私は勝手に思っていた。しかしガイドによると、中で高線量に耐えうるロボットを駆使して原子炉を少しずつ解体し、その瓦礫を地下深く(だったと思う)、人々の生活に影響を及ぼさないところに埋めるのだという。

土地が広大で地震もなく、周囲には森林だけが広がっている地域だといえ、最後まで責任をもつて人類の負の遺産を処理しようとする政府の姿勢には頭が下がる。素人が考えても上手くない

《やっぱり「せんせいふやそう」にも協力を!

と分かる凍土壁や除染でお茶を濁そうとしているどこかの国とは大違いだ。

そんなようなことをもつと質問したり議論したりしたかったが、私の貧相な英語力ではそこまで行き着かず、ちよこっぴり悲しい思いをしながら原発を後にした。(つづく)



カマボコシエルターに入った4号炉。周辺線量は意外と低い。